

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：平成29年6月29日

作成者：本間義昭

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	「ときわ会」		
事業名	日時（期間）、場所		
・孤高なる、一人住まいの人達の社会参加を促し、互助の精神により共に助け合う活動。	・日時：各月第3土曜日 AM11:00 「定例会」 ・場所：芦屋市保健福祉センター福祉団体室		
内容（実績）*実施したことと具体的に	受益者数		
・各月第三土曜日：「定例会」&交流会・お誕生日会 etc ・各種歳時行事：お花見・紅葉狩り・バレンタインデー・ホワイトデーetc ・各種行事：見学会・料理教室・日帰り&宿泊旅行 etc ・各種講習会&勉強会・メンバーの提案による各種行事・勉強会等の実施。	(15)人		
成果（社会へのインパクト）*どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	参加者数		
《孤高なる、一人住まいの人達の社会参加を促す活動》 ・一人住まいの世帯が、全世帯の30%を超える社会状況の中に於いて高齢化の進展と共に、孤独死等を始めとする社会的な歪みを露呈し、大きな社会問題として顕在化して来ている。この様な社会から孤立し、孤高な生活を強いられて居る人達との人的なネットワークを構築し、社会参加を促し、互助の精神により共に助け合い、豊かな時間を創造し、共に幸せを感じ出来る社会を目指す活動を、芦屋市社会福祉協議会等の協力を得ながら。実践している。	(15)人		
今後の展望（どのように継続、発展するか）			
・高齢化の社会的現象は、当会にも色濃く影を落とし、メンバーの高齢化に伴い・体調不良・病気・死亡等により40名程いた会員は、現在12名に減少し、広報誌・PR紙等により、孤高な生活を強いられて居る人達にアクセスするとともに、ネットワークを構築し社会参加を促し、共に協力助け合いながら豊かな時間を共有し、高齢化社会の課題解決の為の活動に、積極的に取り組んで参りたい。			